

2022年5月20日

朝霞市および株式会社クラッソーネとの 「空き家対策の促進に係る連携協定」締結について ～産・官・金のプラットフォームで空き家除却を促進します～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、朝霞市（市長 富岡 勝則）および株式会社クラッソーネ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 川口 哲平）と、同市の空き家課題解決に向け、2022年5月26日（木）、3者による「空き家対策の促進に係る連携協定」を締結いたしますので、お知らせします。

朝霞市では、2019年に市内全域の空き家の現地調査を実施するとともに、所有者や管理者を対象とした「空き家のワンストップ無料相談窓口」を開設し、空き家の適正管理や未然防止に向け取り組んでいます。

空き家の適正管理や未然防止には除却（解体）が有効な対策となりますが、「費用の見積もり」や「工事会社の選定」などが所有者・管理者の皆さまにとってハードルとなっております。

当行では、こうした除却（解体）へのハードルを下げ、同市の空き家課題解決を促進すべく、株式会社クラッソーネが提供する「解体費用AIシミュレーター」^{注1}「解体工事一括見積サービス」^{注2}の導入を提案し、今般の協定締結に至ったものです。

本協定のもと、当行では空き家除却（解体）に伴う資金面のご相談への対応や市内工事会社への「解体工事一括見積サービス」登録促進、市民の皆さまに向けたセミナー開催等、地元銀行としてのネットワークやソリューション機能を活かした取り組みを展開してまいります。これにより、産・官・金の3者がスクラムを組み、空き家課題解決に向け一貫通貫したサポートを行うプラットフォーム構築を目指してまいります。

当行では、今後も自治体や事業者の皆さまと連携し、持続可能な地域づくりに貢献する取り組みに注力してまいります。

注1 15万件の見積データを基に空き家解体費用をシミュレーションできるサービスです。

注2 空き家所有者・管理者の皆さまと登録された地元工事会社をマッチングします。

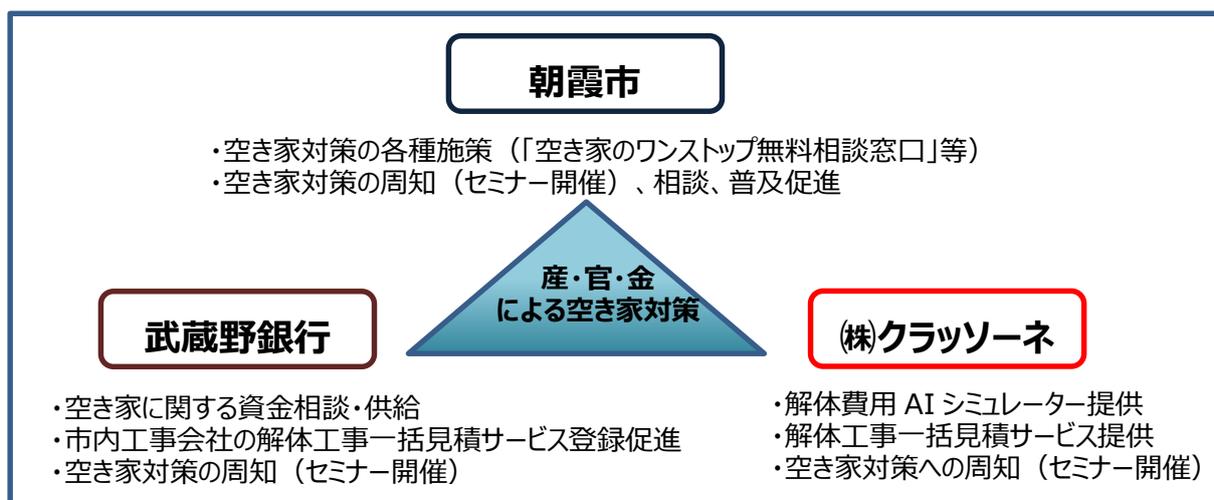
《空き家対策の促進に係る連携協定締結式》

日時	2022年5月26日（木）15時30分～16時00分		
場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室（朝霞市本町1-1-1）		
出席者 （敬称略）	朝霞市 市長	株式会社クラッソーネ 代表取締役	富岡 勝則 川口 哲平 長堀 和正
	当行	頭取	

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 郷 大助、佐野 和弘
TEL (048) 641 - 6111

《別紙》



空き家の適正管理・未然防止⇒朝霞市の豊かな暮らしの実現、街の景観・魅力向上へ

＜株式会社クラッソーネについて＞

本 社：愛知県名古屋市中村区名駅5丁目7番30号 名駅東ビル4F

代表者：代表取締役CEO 川口哲平

設 立：2011年4月1日

資本金：952,985,520円（資本準備金含）

URL：<http://www.crassone.co.jp>

事業内容：ITを活用し、空き家、老朽家屋の解体工事の概算把握、一括見積もり、契約、完工までのサポート事業を行う。

当社が提供する解体費用AIシミュレーター事業は、国土交通省「令和3年度住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」に採択